

道南太平洋海域スケトウダラニュース

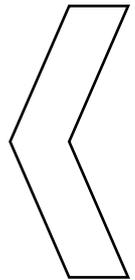
平成18年度 第3号

2006年11月1日

北海道立栽培水産試験場
調査研究部

Tel: 0143-22-2327

Fax: 0143-22-7605



道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

調査船金星丸（函館水試）により実施したスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。調査予定期間中の天候が悪く、一部海域のみの調査となりました。また、波浪の影響により、計量魚探の計測結果は過小評価となっているため、反応の強さは、参考値と考えて下さい。

- ・調査期間：平成18年10月26日～10月27日
- ・調査海域：渡島・胆振支庁管内の水深100～500m太平洋海域

魚群は渡島から胆振支庁海域に広く分布（渡島側の反応が強い）
分布水深は280～400m（前回調査時より深い）
スケトウダラの平均反応量は前年同期より増加

1. スケトウダラと考えられる魚群は、調査海域の全域（渡島～胆振支庁）で広く観察されました。渡島海域では189海区の沖側および188、192海区、胆振側では185海区の沖側および184、182海区に比較的強い反応が観察されました。また、渡島側の反応の強さが胆振側と比較して高い結果となりました（図1）。
2. スケトウダラと考えられる魚群は水深280～400mの範囲に観察されました（図2）。前回の調査（8月末）と比較して、水温5度以下の水の分布水深が深くなっていることから、スケトウダラ成魚の分布水深も深くなっていると考えられます。また、渡島側のB、D線では水深200m前後の浅い海域にも反応が観察されましたが、これらは水温から判断して、スケトウダラ未成魚の群と思われます。
3. スケトウダラの平均反応量は前年同期より増加しました。
4. 次回の調査は11月末を予定しています。
5. スケトウダラニュースはインターネットで栽培水試ホームページからもご覧になれます。

ホームページアドレス

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/saibai/suketoudara.htm>

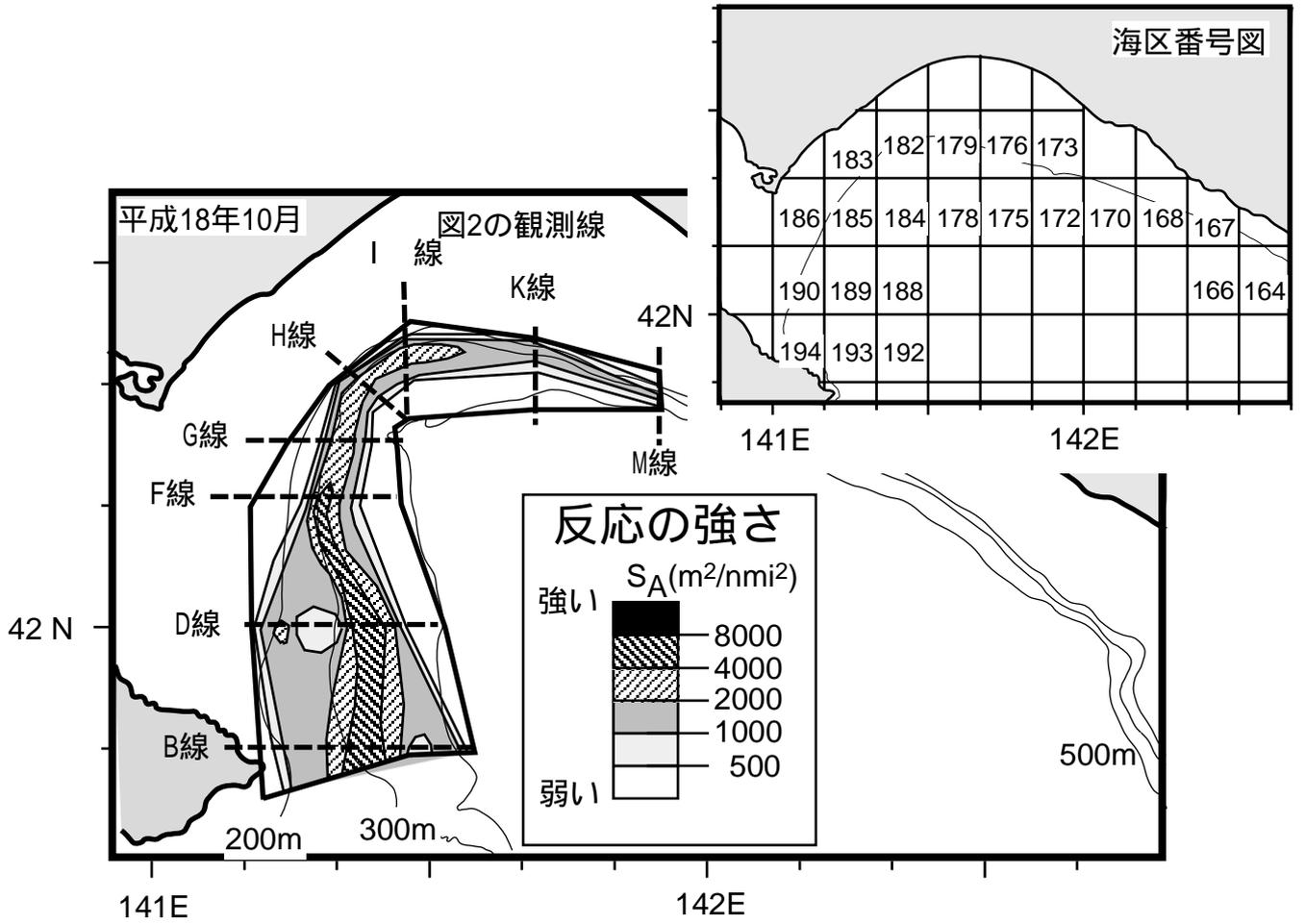


図1．調査海域における魚群の分布
黒ワクの中が調査範囲

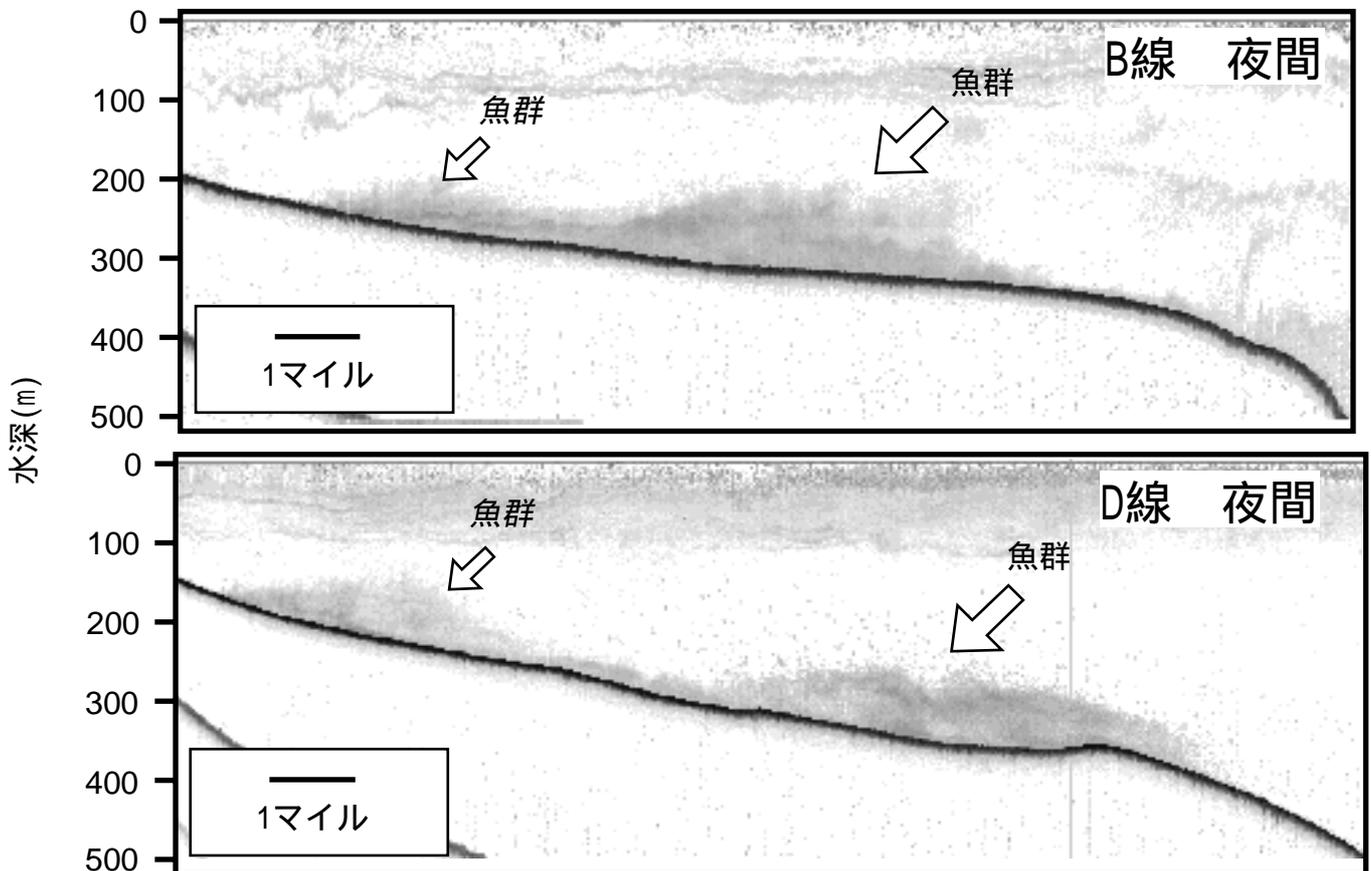


図2．魚群の分布（計量魚探画像）

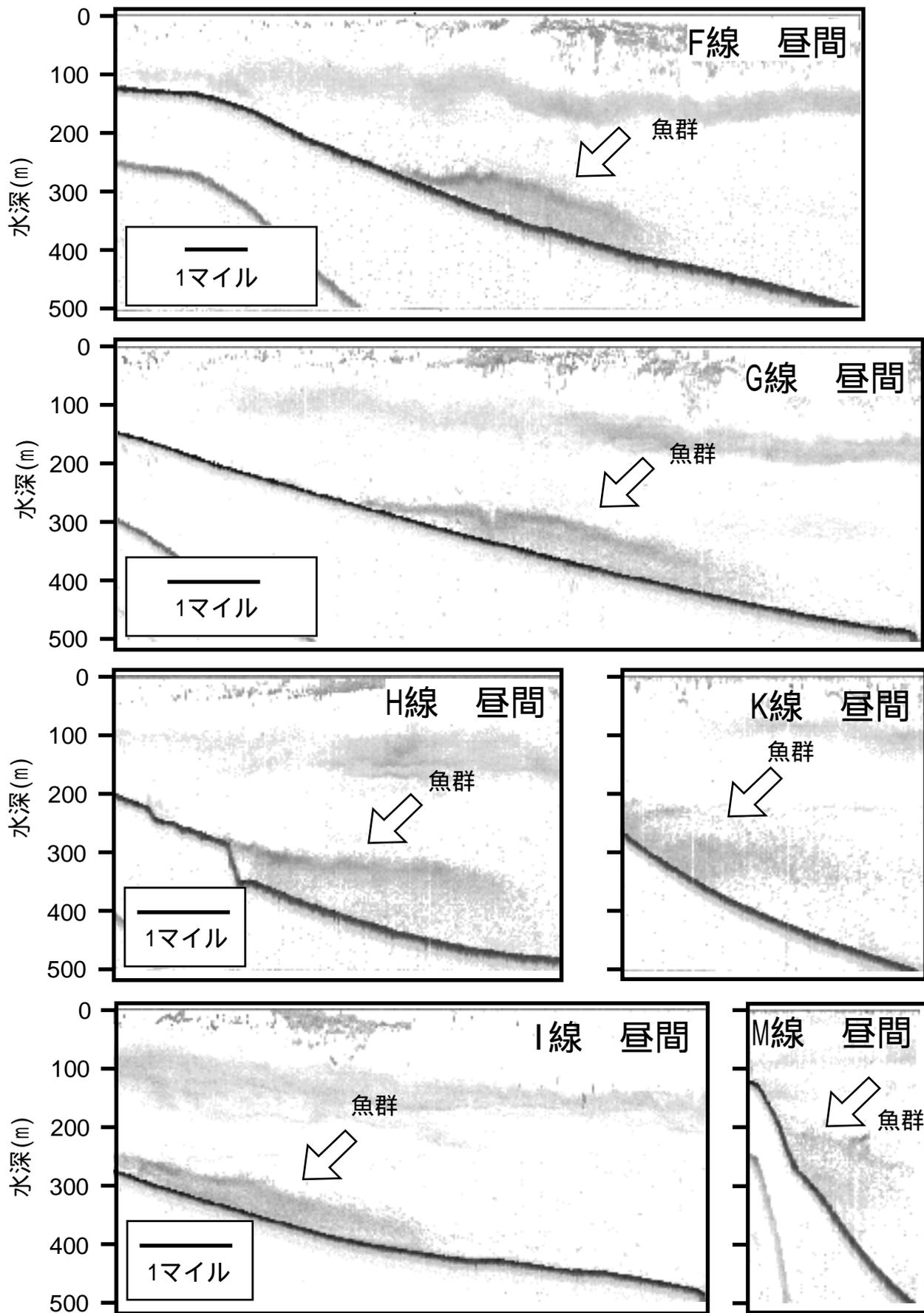


図2．魚群の分布（計量魚探画像）つづき